

少し前のことですが、天然ボケのうちの家内が、僕の雑誌を手を取っているのを見て、思わず吹き出してしまいました。

その雑誌はカメラ雑誌だったのですが、「美しくボケる！」という表紙のタイトルをちょうど自分の顔の下にして読んで（開いて）いたからです。

それこそ写真を撮っておいたら良かったと、今や平成最大の後悔になってしまいました。(+_+)

写真用語に、背景のピントをボヤカして主体の被写体を強調させる「ボケ」という言葉があります。

この本はその写真のテクニックの解説本でした。

ちなみに、この「ボケ」という言葉はそのまま英語になっています。(英: bokeh)

日本のカメラ技術が高いことの証明のようで、何だか誇らしいです。(^^)



美しく
ボケろー！

先日の4月上旬の日曜日に、その家内と「一目千本」ともいわれる吉野山の桜を見ようと思って行ってきました。

その道中、一昨年亡くなった義母が「脳天さん」とよく言っていた「脳天大神」が吉野山にあることを

家内が思い出したように言いました。僕も、義母が生前、『脳天さん』は首から上の神様だからお参りするとボケないで済む」と笑いながら話していたことを覚えています。

肝心の吉野山の桜は、残念ながら中千本と下千本でも、まだ3分咲き程度。

それならと、せっかくなので義母を偲んで「脳天さん」こと「脳天大神」にお参りに行きました。

僕らは、それぞれの「ボケ」防止を祈り、護摩木をお供えしました。



さて、国立社会保障・人口問題研究所は4月19日、2040年までの世帯数の将来推計を公表しました。

それによると **2040年には世帯主が75歳以上の世帯が1,217万と全体の4分の1を占める**とのこと。

かつては子ども家族が行うものとされていた親の介護ですが、核家族化や介護を必要とする高齢者そのものの増加で**介護を社会全体で支える仕組み**が必要となり、2000年に創設されたのが **介護保険制度**です。

この4月納付分から、介護保険料が高くなり、従業員様（40歳以上）の負担も会社の負担も増えました。

給与から控除される保険料が増えたと不平不満も耳にしますが、増えていく高齢者に対する社会保障や**認知症予防**等の対策は避けて通れない問題です。

介護保険の保険者は、市町村。つまり介護保険の運用と財政は、年金と違って市町村に託されています。

統一地方選挙で当選された市長や議員の皆様方、貴重な介護保険料をどうか有効に活用してくださいね。

でも、それぞれが高齢になっても元気、健康であることが、介護保険料や健康保険料の増加を抑制することにつながることは間違いありません。改めて、健康は尊い！ですね。自戒を込めて……。(^▽^;)飲み過ぎ注意！



「脳天さん」には、僕も家内も今回初めてお参りしたものだと思っていました。

でもどこかモヤモヤしたものが、ずーっとありました。

記憶の糸を辿って行って、やっと確信に変わったのは大阪への帰りの道中。

それはもう30年近くも前のことですが、僕たちは行ったことがある・・・はずなんです！

僕が、家内の両親に挨拶をしたいと申し出たとき、それならどこかの神社にお参りするから一緒に行こうということになりました。そして僕は家内の両親と初めて会い、一緒にお参りし、その後夕食を共にしました。

それが吉野の「脳天さん」だったはず。家内もそのことに思い当たったようで、2人して苦笑い。

毎日の目先の忙しさにかまけてすっかり忘れていたようです。

表紙の写真は藤の花。亡くなった義母の名前には、姓にも名にも「フジ」の文字がありました。

春風のもと優しく揺れる藤の花は、「**あんたらボケたらアカンで**」と義母がケラケラ笑っているようです。

そういや5月は母の日。義母の仏前に「脳天さん」に行ったことを報告しなくちゃ。(^^)/

